

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

P-CHECK・LH

P-チェック・LHクリアー Clearly

<添付文書・お客様用ご使用の手引き>



検査を始める前に本書の内容をよく読んで正しくご使用ください。

目次

添付文書	1
お客様用ご使用の手引き	
1.はじめに	9
2.検査開始日を決める	12
3.検査のしかた	13
4.判定のしかた	15
5.Q&A	19

9ページ以降に排卵日予測検査薬に関する豆知識、検査における注意事項、検査結果の読み方、Q&A等の詳細な説明が入った「お客様用ご使用の手引き」を掲載しています。検査前にお読みください。

この説明書をよく読んでからお使いください。
また、必要なときに読めるよう大切に保存してください。

一般用検査薬

2017年4月作成

第1類医薬品

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

P-チェック・LH クリアリー

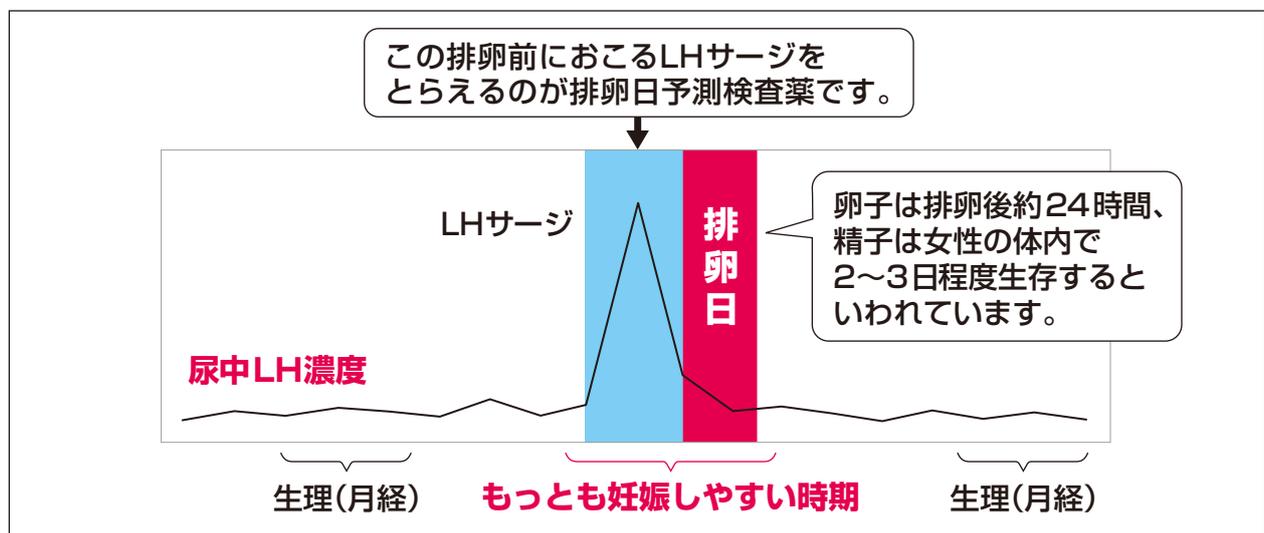
【排卵日を事前に把握することの重要性】

妊娠は卵子と精子が互いに生存している時期に出会うことから始まります。女性の体内での精子の生存期間が約2～3日であるのに対し、卵子は排卵後、約24時間しか生存しないといわれています。従って、排卵の前または直後の性交が最も妊娠しやすく、妊娠を望む上で排卵日を事前に把握することはとても大切なことです。

【排卵日がわかるしくみ(測定の原理)】

黄体形成ホルモン(LH)は、女性ホルモンの一種で、普段から少量分泌されています。生理(月経)周期の中頃に短期間ですが、このLHの分泌量が急激に増加します。このLHの大量分泌をLHサージといい、LHサージから約40時間以内に排卵がおけるといわれています。「P-チェック・LH クリアリー」は尿中に分泌されるLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

この検査薬は、LHサージを検出するもので、排卵を確認するわけではありません。6周期検査し、適切な時期に性交しても妊娠しない場合は、医師の診療を受けてください。



【使用上の注意】

してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。

(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

相談すること

①次の人は、使用前に医師に相談してください。

不妊治療を受けている人

通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人

生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

②検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

③この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

検査時期に関する注意

- ・ 1日1回検査をする場合：
1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。
- ・ 1日2回検査をする場合：
1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。
- ・ 毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。

廃棄に関する注意

- ・ 廃棄の際は尿の付着したもの、あるいはプラスチックゴミとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

【使用目的】

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

【使用方法】

●検査のタイミング

ご自分の生理(月経)周期から換算して、次の生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

詳しくはP.12をご確認ください。

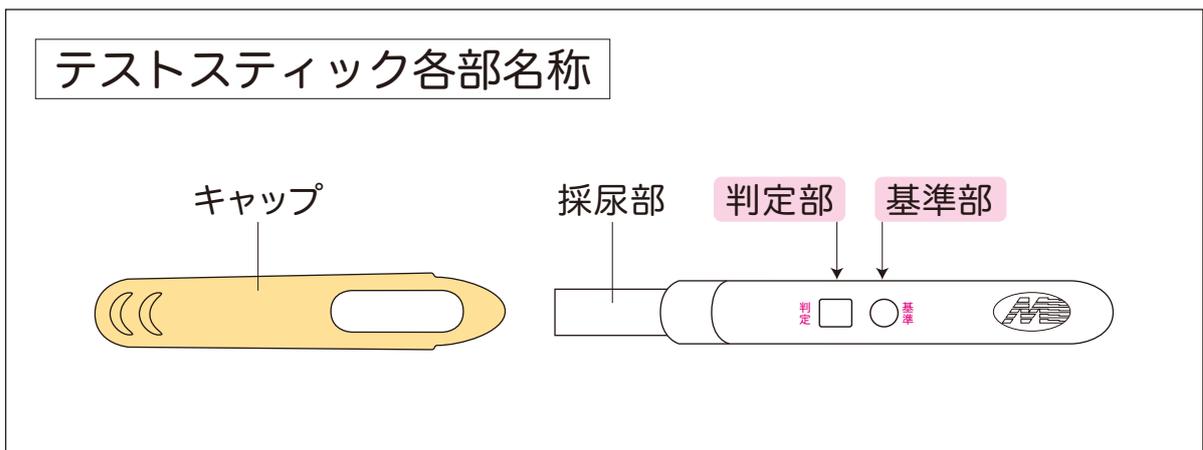
<検査のタイミング>

月経周期	21日以下	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
検査を始める日*	月経開始日から									
	5日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目
月経周期	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を始める日*	月経開始日から									
	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	22日目	23日目

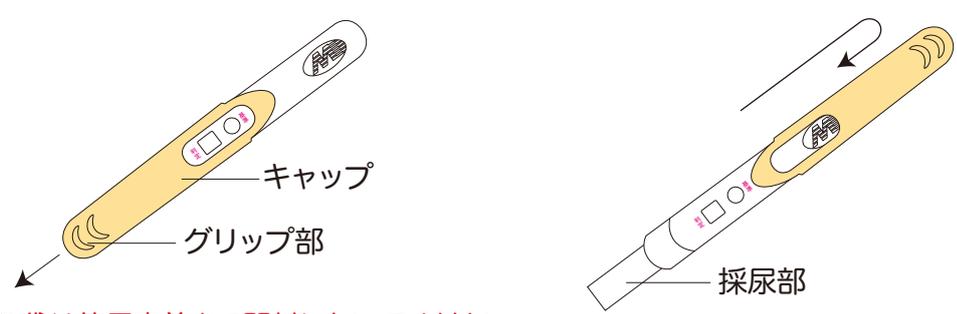
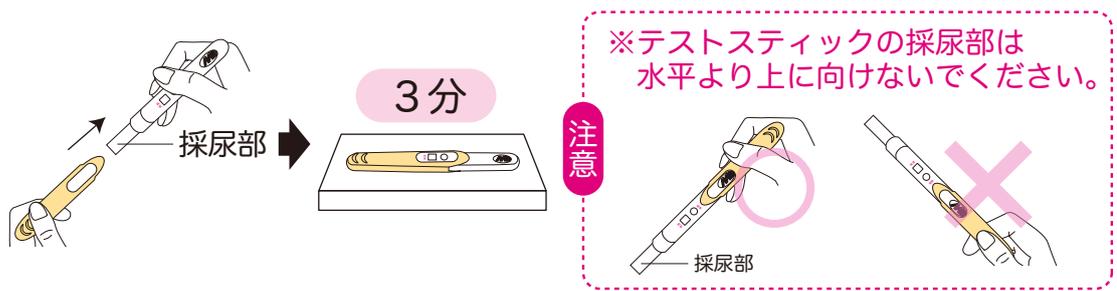
- ・生理(月経)開始日の翌日を1日目とする。
- ・生理(月経)周期とは、生理(月経)が始まった日を1日目とし、次の生理(月経)開始前日までの日数です。
- ・生理(月経)周期が不規則な方は最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

- 検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

●検査のしかた



●検査の手順

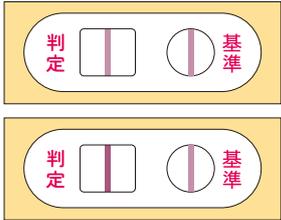
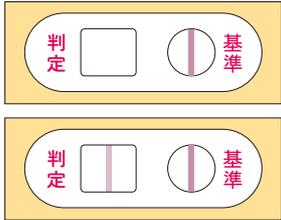
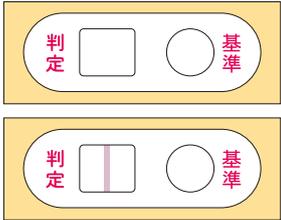
<p>1</p> <p>準備</p>	<p>①アルミ袋からテストスティックを取り出し、先端のキャップをはずします。</p> <p>②キャップをテストスティックの反対側にはめ、キャップのグリップ部を持ちます。</p>  <p>※アルミ袋は使用直前まで開封しないでください。</p>
<p>2</p> <p>A 尿をかける または B 尿につける</p>	<p>A. 採尿部を下に向けて、直接尿をかけます。尿は採尿部全体にかかるように5秒以上かけてください。</p> <p>5秒以上</p> <p>※正面から採尿部に尿をかけてください。</p> <p>※尿を40秒かけても問題がないことを確認しています。</p> <p>注意</p> <p>※判定窓や側面へ向けて尿をかけないでください。</p> <p>B. または、乾いた清潔な紙コップ等に尿を採り、採尿部全体がつかないように10秒間尿につけてください。</p> <p>10秒間</p> <p>※採尿部のみをつけてください。</p> <p>注意</p> <p>※採尿部以外はつけないでください。</p>
<p>3</p> <p>静置</p>	<p>採尿部を下に向けたままキャップをかぶせ、平らな場所に置き、3分待ってください。</p> <p>3分</p> <p>注意</p> <p>※テストスティックの採尿部は水平より上に向けないでください。</p> 

*3分静置後、次ページの判定のしかたに従って判断してください。

●判定のしかた

検査キットの判定部を以下のように判定してください。

初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵が起こるといえるしです。

<p style="text-align: center;">陽 性</p> <p>判定ラインの濃さが基準ラインと同等以上の場合</p>	<p style="text-align: center;">陰 性</p> <p>判定ラインが認められないか、判定ラインの濃さが基準ラインよりも薄い場合</p>	<p style="text-align: center;">再検査</p> <p>基準ラインが認められない場合</p>
		
<p>LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。 <u>初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。</u></p>	<p>LHサージが検出されませんでした。 翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。</p>	<p>基準ラインが出ていない場合は尿量不足等の操作上のミスが考えられます。再度、新しい検査薬で検査を行ってください。</p>

【使用に際して、次のことに注意してください。】

(採尿に関する注意)

- ・にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- ・検査前4時間程度はできるだけ排尿しないでください。もしくは検査前の最後の排尿から検査までを毎日ほぼ同じ時間あけてください。
- ・検査前に、水分を過剰にとらないでください。
- ・検査前に多量の発汗を伴う運動は避けてください。

(検査手順に関する注意)

- ・採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わってくる場合があります。
- ・操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

(判定に関する注意)

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師又は薬剤師に相談してください。

通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。

妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

【検査結果】

検査結果を記入してみましょう。

	検査日	検査時間	検査結果	メモ
1日目			陽性・陰性	
2日目			陽性・陰性	
3日目			陽性・陰性	
4日目			陽性・陰性	
5日目			陽性・陰性	
6日目			陽性・陰性	
7日目			陽性・陰性	
8日目			陽性・陰性	
9日目			陽性・陰性	
10日目			陽性・陰性	
11日目			陽性・陰性	
12日目			陽性・陰性	
13日目			陽性・陰性	
14日目			陽性・陰性	

排卵から約2週間後に、生理(月経)は始まります。LHサージをとらえるために、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始すると、生理(月経)予定にずれが生じない典型的な例では、検査開始から約3日目に初めて陽性が現れます。

(検査結果には個人差があります。また、あくまで典型的な例であり、異常がなくてもずれる場合があります。)

【キットの内容及び成分・分量・検出感度】

(内容)

7回用 テストスティック 7本
14回用 テストスティック 14本

(成分) 1テストスティック中

ハプテン結合マウスモノクローナル抗LH抗体	57ng
マウスモノクローナル抗LH抗体結合金コロイド	3.6 μ g
ヤギポリクローナル抗ウサギ免疫グロブリン抗体	0.4 μ g
ウサギ免疫グロブリン結合金コロイド	0.16 μ g

(検出感度)

30mIU/mL

【保管及び取扱い上の注意】

- ①小児の手の届かない所に保管してください。
- ②直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください(1~30℃)。
- ③冷蔵庫内に保管しないでください。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- ④品質を保持するために、他の容器に入れ替えないでください。
- ⑤アルミ袋は使用直前に開封してください。
- ⑥使用期限の過ぎたものは使用しないでください。
- ⑦他の製品との混合使用はしないでください。
- ⑧採尿部を直接手で触らないでください。

【保管方法・有効期間】

室温保存 36ヵ月間(使用期限は外箱に記載)

【包装単位】

7回用、14回用

【お問い合わせ先】

(株)ミズホメディーお客様相談室 0120-85-0323

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4

受付：月～金(祝日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

製造販売元  株式会社 ミズホメディー

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

P-チェック・LH クリアー

ご使用の前に添付文書をよく読んでお使いください。

1. はじめに

<この検査薬の効果は？>

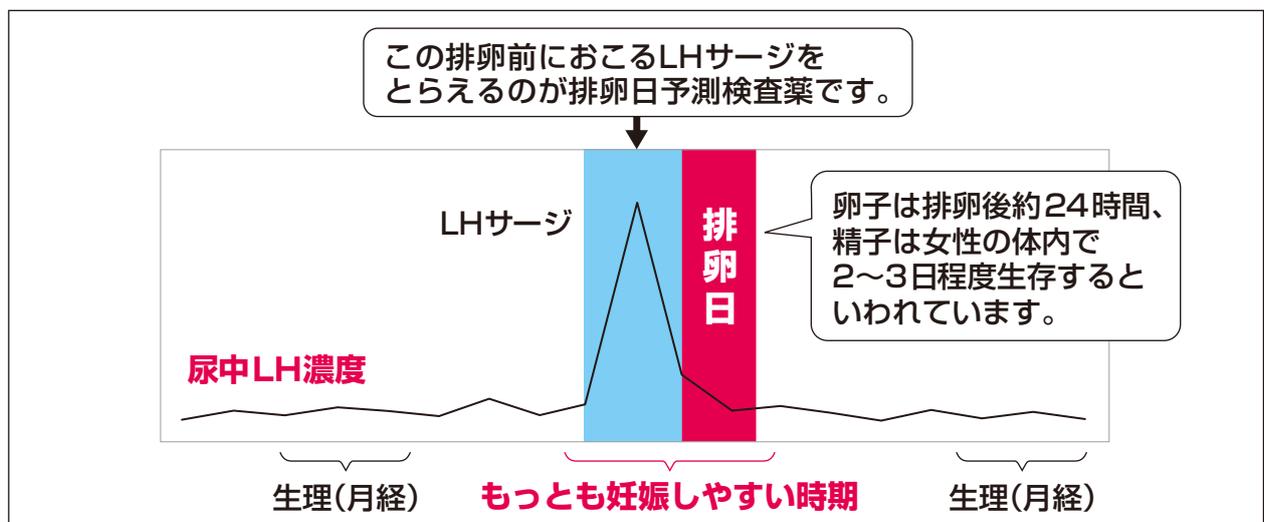
この検査薬は、尿中の黄体形成ホルモン(LH)を検出し、排卵の引き金となるLHの大量分泌(LHサージ)をとらえる検査薬です。LHサージがおこってから、約40時間以内に排卵がおこることが知られています。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。

●排卵日を予測できる

妊娠するためには、自分の排卵日を正確に知ることがとても重要です。排卵日の前後が最も妊娠しやすい時期ですから、夫婦生活のタイミングを排卵日に合わせていただくのが、妊娠への第一歩となります。本検査薬を使用すると、この排卵日を事前に予測することができます。

●LHとは

排卵前にはLH(黄体形成ホルモン)というホルモンが放出されます。



LHは普段から少量分泌されていますが、排卵日前になると、急激に何倍量も分泌され、一気にピークに達します。これをLHサージと呼びます。本検査薬ではこのLH濃度の急激な変化をとらえ検出します。

●検査を行う前に

LHサージの期間は短いため、本検査薬を用いて、このLHサージをとらえるには検査開始日から、毎日連続してかかさず、ほぼ同じ時間帯に実施することが必要となります。

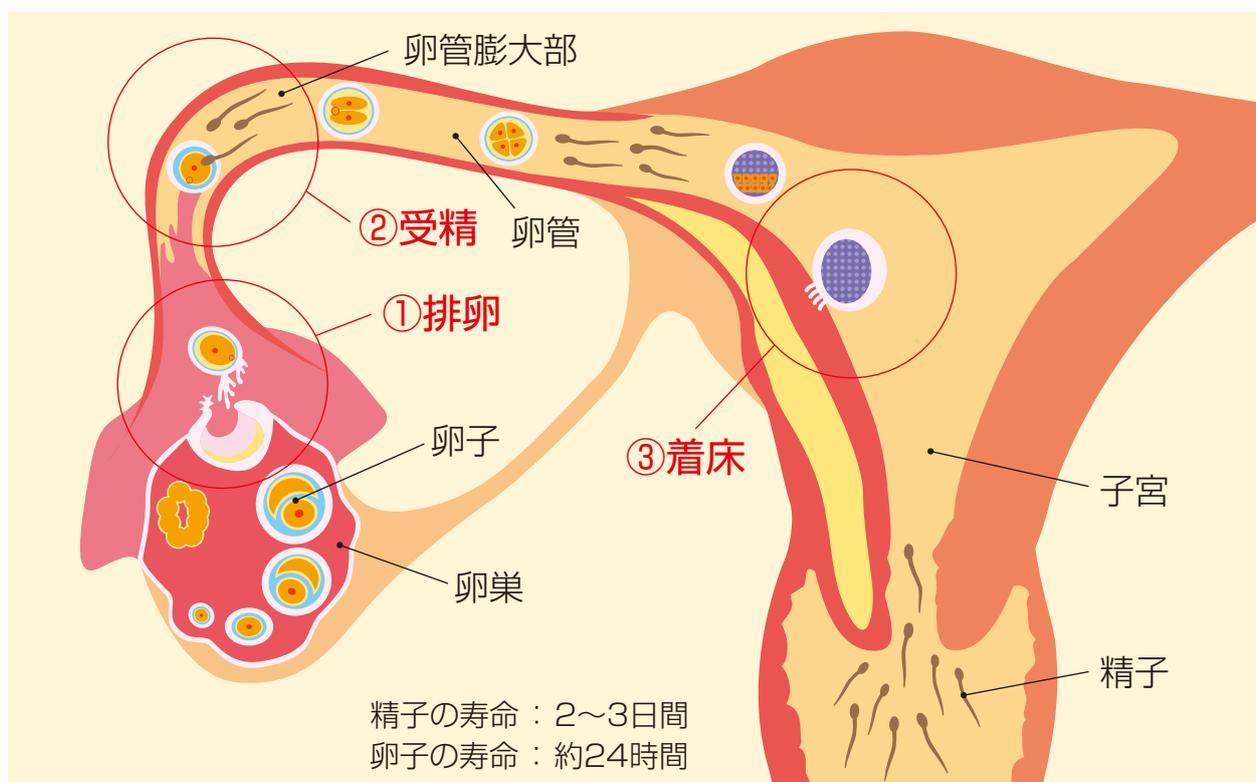
(但し、LHサージがとらえられた時点でこの検査は終了となります。)

また、検査を行うに際して最も重要なことは「どの時期に行うか」の判断です。検査を開始して数日以内にLHサージをとらえられるように検査のタイミングを合わせる必要があります。

なお、本検査薬は**避妊目的には使用できません**。

●受精と妊娠について

- ① 卵巣内の未成熟の卵子は、おおよそ1 ヶ月に1回成熟して、卵巣から卵管へ放出されます。・・・**「排卵」**
- ② 排卵した卵子が卵管で、精子と出会うと受精卵ができます。・・・**「受精」**
- ③ この受精卵は、細胞分裂を繰り返しながら、卵管内を移動し子宮内膜にもぐりこみます。・・・**「着床」** ここで妊娠の成立です。

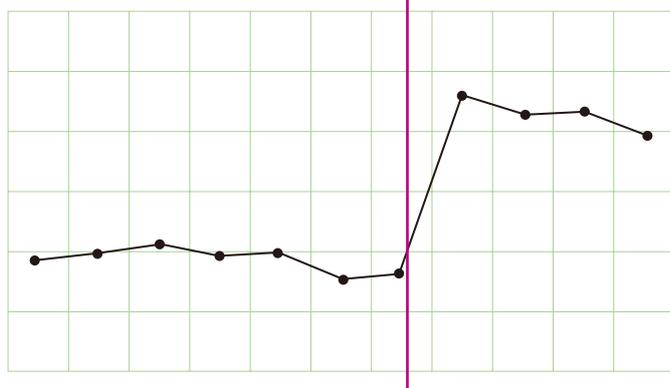


* 射精された精子は卵管膨大部で待機し、放出された卵子と出会い受精しますので、**排卵の前または直後**がもっとも妊娠しやすい性交の時期といえます。

●基礎体温と排卵日について

基礎体温

排卵日



基礎体温の測定では個人差もありますが、排卵日の時期はまだ、低温の場合があり、基礎体温だけで排卵日を予測するのは困難です。

* 基礎体温と排卵日予測検査薬のちがいについてはP.21をご覧ください。

<この検査薬を使う前に、確認すべきことは>

してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。

(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

相談すること

①次の方は、使用前に医師に相談してください。

不妊治療を受けている人

通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人

生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

②検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

③この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

<この検査薬の使い方は>

2. 検査開始日を決める

検査は朝、昼、夜いつの尿でも検査できますが、検査開始日から1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に行ってください。

過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判断に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。

次回生理(月経)の開始予定日の17日前から検査を開始します。

例) 次回生理(月経)開始予定日が6月25日の場合・・・検査開始日は6月8日となります。

次回生理(月経)開始予定日の
17日前から検査を開始します

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8 17日前	9 16日前	10 15日前	11 14日前	12 13日前	13 12日前	14 11日前
15 10日前	16 9日前	17 8日前	18 7日前	19 6日前	20 5日前	21 4日前
22 3日前	23 2日前	24 1日前	25	26	27	28
29	30					

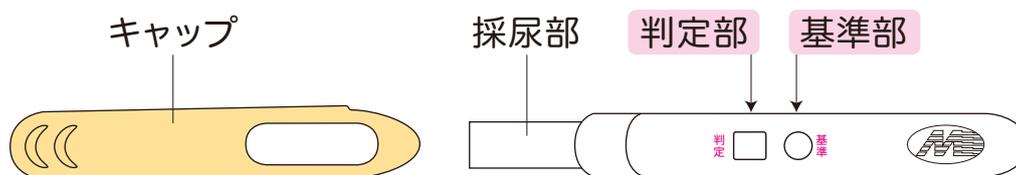
次回生理(月経)開始予定日

- * 生理(月経)周期が不規則な場合は、最近の2~3周期のうち、最も短かった生理(月経)周期をもとに、検査を開始してください。
- * すでに検査開始日を過ぎていた場合は、次の生理(月経)周期で検査開始日を設定して検査してください。
- * 分娩後や流産後の方は、生理(月経)が始まってから検査してください。

3. 検査のしかた

<この検査薬の形は>

●テストスティック各部名称



<この検査薬の使用に際し、気をつけなければならないことは>

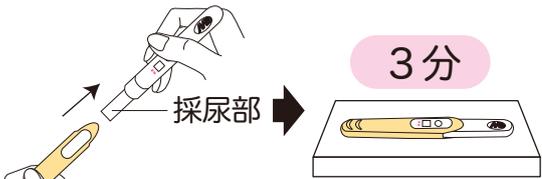
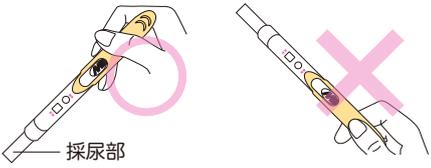
(採尿に関する注意)

- ・にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- ・検査前 4 時間程度はできるだけ排尿しないでください。もしくは検査前の最後の排尿から検査までを毎日ほぼ同じ時間あけてください。
- ・検査前に、水分を過剰にとらないでください。
- ・検査前に多量の発汗を伴う運動は避けてください。

(検査手順に関する注意)

- ・採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わってることがあります。
- ・操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

●検査の手順

<p>1</p> <p>準備</p>	<p>①アルミ袋からテストスティックを取り出し、先端のキャップをはずします。</p> <p>②キャップをテストスティックの反対側にはめ、キャップのグリップ部を持ちます。</p>  <p>※アルミ袋は使用直前まで開封しないでください。</p>
<p>2</p> <p>A 尿をかける または B 尿につける</p>	<p>A. 採尿部を下に向けて、直接尿をかけます。 尿は採尿部全体にかかるように5秒以上かけてください。</p>  <p>5秒以上</p> <p>※正面から採尿部に尿をかけてください。</p> <p>※尿を40秒かけても問題がないことを確認しています。</p> <p>B. または、乾いた清潔な紙コップ等に尿を採り、採尿部全体がつかないように10秒間尿につけてください。</p>  <p>10秒間</p> <p>※採尿部のみをつけてください。</p> <p>※判定窓や側面へ向けて尿をかけないでください。</p> <p>※採尿部以外はつけないでください。</p>
<p>3</p> <p>静置</p>	<p>採尿部を下に向けたままキャップをかぶせ、平らな場所に置き、3分待ってください。</p>  <p>3分</p> <p>※テストスティックの採尿部は水平より上に向けないでください。</p>  <p>採尿部</p>

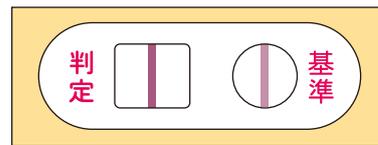
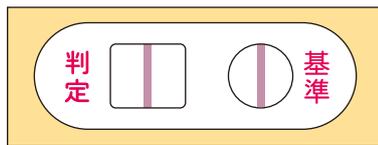
*3分静置後、次ページの判定のしかたに従って判断してください。

4. 判定のしかた

検査キットの判定部を以下のように判定してください。
初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵が起こるといえるのです。

【陽 性】

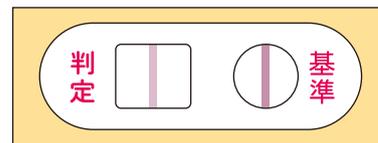
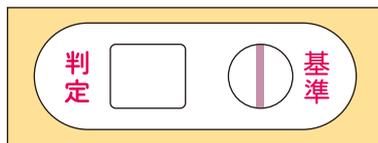
判定ラインの濃さが基準ラインと同等以上の場合



LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。
初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。

【陰 性】

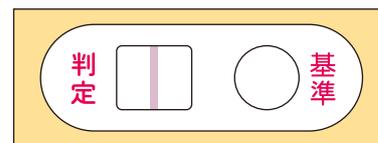
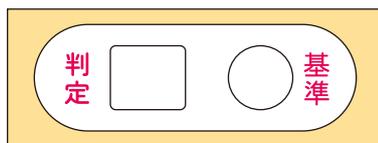
判定ラインが認められないか、判定ラインの濃さが基準ラインよりも薄い場合



LHサージが検出されませんでした。
翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。

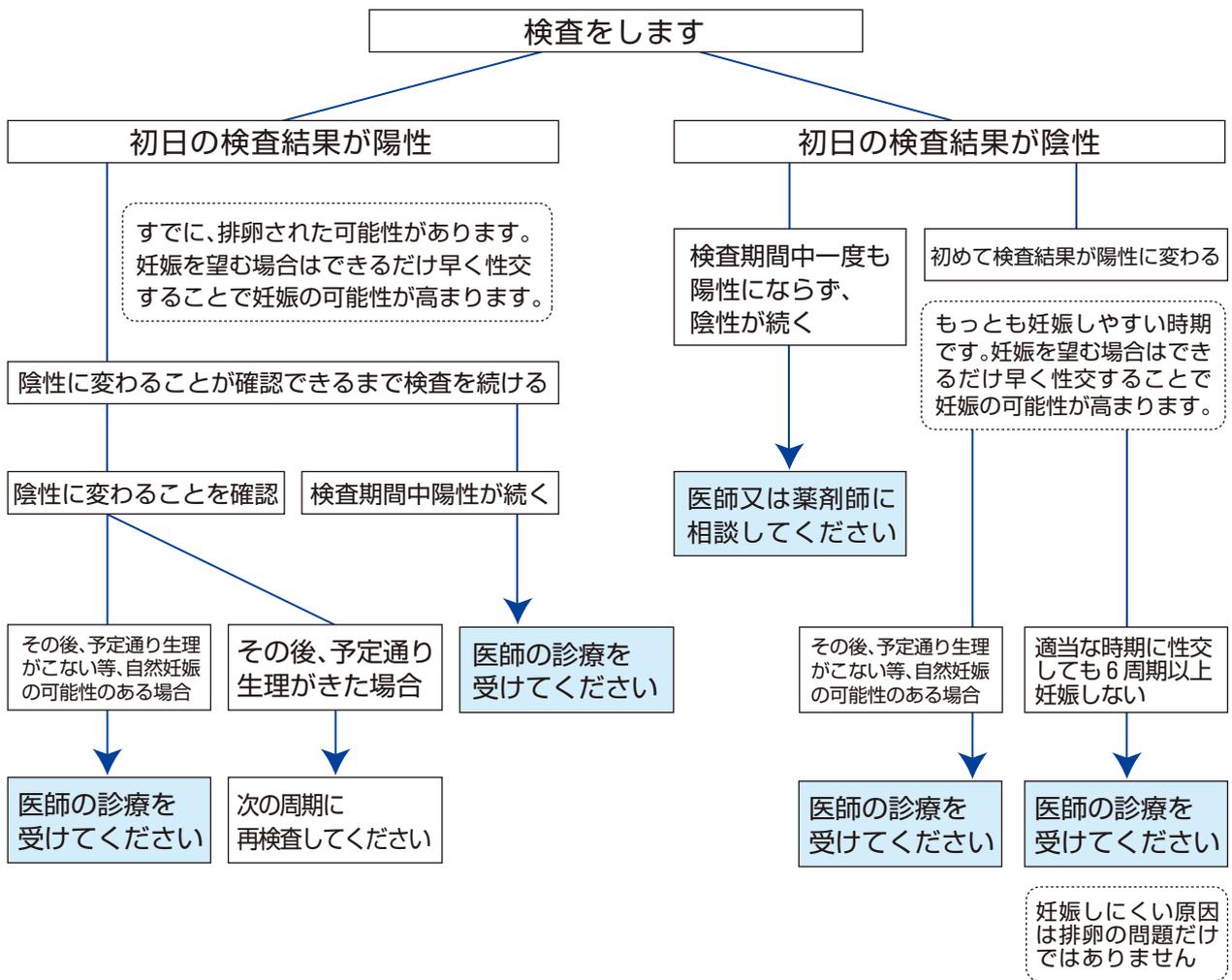
【再検査】

基準ラインが認められない場合



基準ラインが出ていない場合は尿量不足等の操作上のミスが考えられます。
再度、新しい検査薬で検査を行ってください。

●フローチャート



<この検査薬の使用に際し、気をつけなければならないことは>

(判定に関する注意)

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。

(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師又は薬剤師に相談してください。

通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。

妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

<この検査薬に含まれているのは>

1テストスティック中

ハプテン結合マウスモノクローナル抗LH抗体	57ng
マウスモノクローナル抗LH抗体結合金コロイド	3.6 μ g
ヤギポリクローナル抗ウサギ免疫グロブリン抗体	0.4 μ g
ウサギ免疫グロブリン結合金コロイド	0.16 μ g

<保管及び取扱い上の注意>

- ①小児の手の届かない所に保管してください。
- ②直射日光を避け、湿気の少ない所に保管してください(1～30℃)。
- ③冷蔵庫内に保管しないでください。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- ④品質を保持するために、他の容器に入れ替えしないでください。
- ⑤アルミ袋は使用直前に開封してください。
- ⑥使用期限の過ぎたものは使用しないでください。
- ⑦他の製品との混合使用はしないでください。
- ⑧採尿部を直接手で触らないでください。

5. Q&A

Q1 避妊目的には使用してはいけませんか？

A 本品は、妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおきると言われる約40時間を大幅に超えて排卵がおきることがあること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおきることがあること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生存している可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

Q2 生理(月経)周期が不規則で、5、6日ずれることもあるのですが、検査はいつ始めるのがいいですか？

A 生理(月経)周期が不規則な場合は、最近の2～3周期の中で1番短かった周期を目安にして次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

なお、生理(月経)周期が非常に不規則な場合は、重要な疾患が潜んでいる可能性も考えられるため、なるべく早く医師に相談してください。

Q3 計算に従って決めた検査開始日を今月は過ぎていましたが、いつから始めたらいいですか？

A 検査開始日をすでに過ぎていた場合は、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査してください。

Q4 検査を始めて2日が経過し、陰性が続いていましたが、3日目の検査を行うことを忘れてしまいました。4日目から再開した方がいいですか？

A 4日目に検査をして陰性であったとしても、3日目に陽性であった可能性があり、排卵日を正確に予測できないおそれがあるため、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査してください。

Q5 1日1回と2回のどちらがいいですか？

A 本品はLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測するものです。LHサージは短時間に急激におこりますので、1日2回検査を行っていただくと、よりLHサージがとらえやすくなります。

Q6 飲酒、喫煙、かぜ薬等の服用は判定に影響しますか？

A 影響しません。ただし、不妊治療のために投与されている薬剤の中には判定に影響するものもありますので、医師にご相談ください。

Q7 6周期検査し、性交を持ったのに妊娠しないのですが？

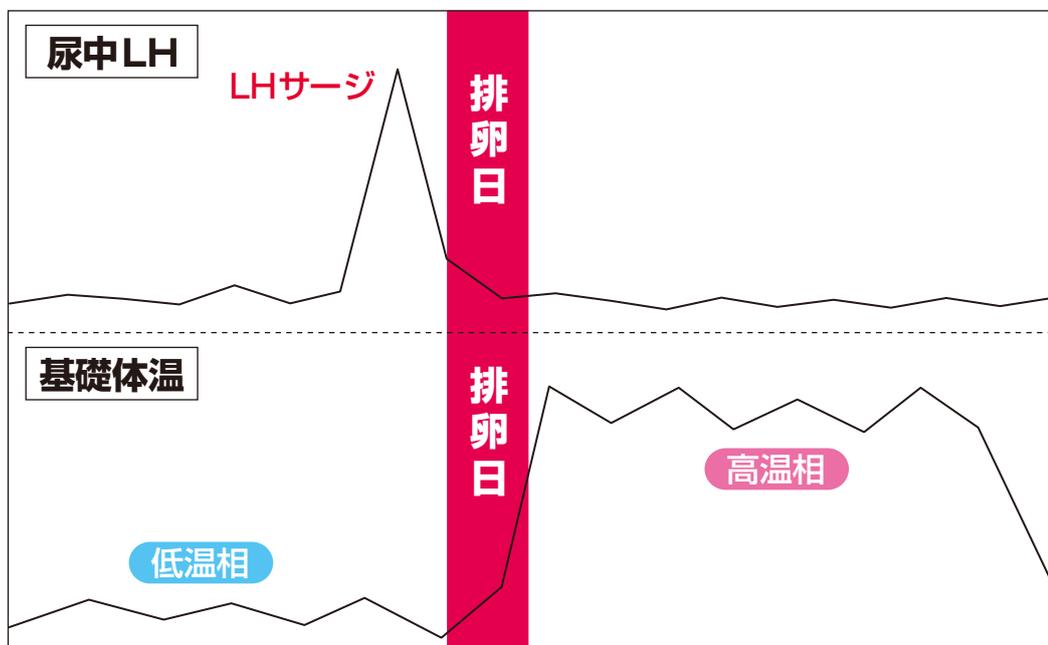
A 妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。また、生理(月経)が順調だから問題がないということでもありません。妊娠しにくい原因は様々ありますが、女性側の原因の多くは治療が可能です。自分一人で悩まず医師にご相談ください。この検査の結果や基礎体温を測定した結果があれば診断に役立つでしょう。できればパートナーと一緒に相談に行かれることをお勧めします。

Q8 排卵日を知る手がかりである基礎体温と排卵日予測検査薬のちがいは？

A 排卵がある周期の場合、基礎体温は低温相と高温相の二相があり、低温相から高温相に変化した頃に排卵があったことが推定できます。多くの場合、体温が上がってから排卵があったことが分かるので、基礎体温法では前もって予測することは難しいといわれています。

一方、尿中の黄体形成ホルモン(LH)濃度の上昇が始まってから約40時間以内に排卵がおこることが知られており、排卵日予測検査薬でLHの分泌量の変化を調べることで約1日前に排卵日の予測の補助を行うことができます。

排卵日予測検査薬は補助的に排卵を事前に予測し、基礎体温は排卵を後で確認できますので、特に生理(月経)の不規則な方は基礎体温と排卵日予測検査薬を併せて使うことをお勧めします。



Q9 最も妊娠しやすい時期はいつですか？

A 初めて陽性になったときから約40時間以内に排卵がおこる可能性が高いと予測され、その時期が最も妊娠しやすい時期といえます。

Q10 尿をかけた後でも基準部にも何もラインが出ないのですが？

A 尿量不足等の操作ミスが考えられます。検査のしかたをよく読み直してから、再度、検査をやり直してください。

この製品についてのお問い合わせは
(株)ミズホメディー お客様相談室 **0120-85-0323**
受付:月～金(祝日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

製造販売元  株式会社 ミズホメディー
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4